

成果の説明書

(氏名)石井清輝	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>①群馬県桐生市の重要伝統的建造物群保存地区を中心に、所属ゼミ学生と商店主、市職員などに対するインタビュー調査、祭礼調査を実施し、あわせて重伝建指定に関する住民意識調査を実施した。なお、これら研究成果を、他大学との合同発表会（2018年2月19日・北小学校）にて発表した。</p> <p>②東京都台東区の谷中地区、文京区の根津、千駄木地区において、所属ゼミ学生と観光客の動向やまちづくりに関する調査実習を実施した。</p> <p>③上記①、②の学生による調査活動も踏まえて、ゼミ所属学生の報告書の原稿作成の指導を進めた。</p> <p>④これまで進めてきた、日本統治時代の台湾における都市生活史調査のデータの整理、分析を進めていくために、『在台日本人』の記憶をめぐる社会学的問題構成—生活史法によるアプローチを中心として』を発表した（『地域政策』第20巻第4号）</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>拙稿の、「歴史的環境の保存活動を媒介とした『地域の公共性』の生成過程—台湾における日本式木造家屋群を対象として」『関東都市学会年報』第16号（2015年3月）が日本都市学会論文賞を受賞した。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>①台湾に関しては、日本統治期建築物の保存・活用に関する実証的研究、及び「在台日本人」を対象としたインタビュー調査を進めていく予定である。</p> <p>②群馬県桐生市では、歴史的環境の保存・活用に関する研究を継続し、さらに論文の執筆を進めていく予定である。</p>	